

## 平成28年度「正則小学校をよりよくするためのアンケート調査」の結果

今回 平成28年12月12日調査 有効回答数211 (回収率 98%)

前回 平成27年12月 8日調査 有効回答数205 (回収率 95%)

項 目	今回平均	前回平均
A お子様は、授業が分かりやすいと言っている。	3.2	3.1
B お子様は、学習に向かう態度が身についている。	2.9	2.9
C お子様は、家庭で決まった時間に勉強をしている。	2.8	2.8
D お子様は、忘れ物がないように気をつけている。	3.2	3.2
E お子様は、学校で楽しく生活している。	3.6	3.4
F お子様は、家庭・地域・学校のルールやマナーを守っている。	3.4	3.3
G お子様は、家族や近所の人にあいさつをよくする。	3.1	3.1
H お子様は、悩みがあれば家族に相談する。	3.2	3.1
I お子様は、家で読書をよくする。	2.3	2.4
J お子様と、学校での出来事を話し合うことがよくある。	3.1	3.2
K お子様は、食後に歯みがきをしている。	3.2	3.1
L お子様は、栄養や量に気をつけて、食事やおやつを食べている。	2.9	2.8
M お子様は、通学団の友だちと仲良く、安全に登下校をしている。	3.4	3.3
N 学校は、保護者・地域の要望や願いに応えようと努めている。	3.2	3.1
O 学校は、教育活動に関する情報を積極的に伝えている。	3.2	3.2
P 学校は、一人一人にきめ細やかな指導を工夫している。	3.1	2.8
Q 学校は、いじめや問題行動に対し、迅速に対応している。	3.1	2.9
R 学校は、施設設備の充実に努め、それを有効に活用している。	3.0	2.9
S 学校のPTA活動は、活発で充実している。	3.2	3.1
T 学年だより・学校だよりを読んだり、プリントや連絡帳を見たりしている。	3.6	3.5
U 学校は、保護者の悩みや相談・訴えに対し、丁寧かつ迅速に対応している。	3.2	3.1
V 学校での子どもの様子を知る機会は十分にある。	3.2	3.1
平均	3.1	3.1

※「平均値」は、全校の回答(4点満点)の平均値です。

### 今回の調査結果から(児童アンケートの結果を含む)

前年度の調査結果と比べて、ほぼ同様の結果となりましたが、わずかに上昇した項目が多く見られました。次年度に向けて改善していかなければならない事柄もありますので、今後、以下のような点に留意して指導を進めていきたいと思えます。

#### 【学習面】

- ① 家庭学習の習慣が十分に定着している児童とそうでない児童とに二分されるようです。本年度配布した家庭学習の手引きを参考にいただき、学校と家庭との連携を密にして、授業の予習や復習を含めた家庭での学習習慣の定着を図っていきます。
- ② 少人数指導やチーム・ティーチングなどを通して、児童一人一人の特質を考慮した指導形態を今後も取り入れていきます。
- ③ 学習活動だけでなく、体験活動においても振り返りの時間を確保し、積極的に発言し認め合うようにして達成感や自己肯定感を得るようにさせていきます。
- ④ 図書室やコンピュータ教室を利用した調べ学習や校外での体験学習を通して、児童の学習に対する意欲・関心を高めます。

#### 【生活面】

- ① 休み時間や児童会行事、体育の授業を通して、児童の体力づくりを進めます。
- ② 食育指導や保健指導、保健集会などを通して、心身ともに健康な生活づくりを支援していきます。特に心の教育として、各学級でソーシャルトレーニングを計画的に行っていきます。
- ③ 図書委員会の活動、おはなし会・読み聞かせなどにより、本に親しませ、学校や家庭で読書をする児童の増加を目指します。
- ④ あいさつ運動や委員会、係活動、清掃活動などを通して、児童が主体的に取り組む力を養い